

報道関係者 各位

令和7年6月26日
岩沼市政策部市長公室

初

「みやぎ防災」アプリを活用した住民参加型の防災訓練を行います

全国的に大きな地震や自然災害が相次いで発生しています。大規模な災害の発生時に、自分自身や家族の命を守るためには、市民一人ひとりの「自助」と地域による「共助」が必要となり、そのあり方も時代に合せてアップデートする必要があるとございます。

令和7年度の岩沼市防災訓練は、添付資料のとおり地震を想定し、緊急情報の受信確認や緊急情報を踏まえた安全行動、避難所開設訓練、「みやぎ防災」アプリを活用した避難所受付訓練などを行います。

ぜひ、取材くださいますようお願いいたします。

記

【日時】令和7年6月29日（日） 9時～10時30分（予定）

【訓練内容・取材のポイント等】

- 緊急情報の発信を踏まえた避難行動訓練／訓練当日の9時に市全域に緊急情報を発信
- 市内の4小学校・4中学校、市民会館、玉浦コミュニティーセンター、岩沼西コミュニティセンターで避難所開設訓練を実施し、「みやぎ防災」アプリを活用した避難所受付等を行います。

※玉浦コミュニティーセンター、岩沼西コミュニティセンターでは、県の協力をいただき、県職員が、「みやぎ防災」アプリの使い方支援窓口（9：00～11：30まで）を開設します。

【問合せ】

担当／岩沼市危機管理課 菊地、小寺、大沼
電話 0223-23-0356

令和7年度岩沼市防災訓練 運営訓練実施要綱

1. 目的 大規模地震が発生した際の避難所開設及び運営の初動における業務を確認し、実災害時での円滑な避難所開設及び運営が可能となることを目的に、岩沼市として初となる宮城県の自然災害支援アプリ（以下、「県アプリ」という。）を活用した住民参加型の訓練を実施する。
2. 想定 宮城県沖地震（連動型）【宮城県第五次地震被害想定】
（住民側…訓練当日の9時に発災）
（市役所側…平日の勤務時間帯の8時30分に発災）
3. シナリオ 午前9時に地震が発生し、市内で最大6弱の揺れを観測した。住民の避難施設として市民会館、4小4中学校及び東西にあるコミュニティセンターを開設するため、市役所から職員を出動させ、避難者の受入れを行う。
4. 日時 令和7年6月29日（日）9時00分～10時30分 一般
8時30分～訓練終了まで 職員
5. 会場 市民会館、4小4中学校、玉浦コミュニティセンター・岩沼西コミュニティセンター
合計11か所
6. 参加者 住民200～300人程度（避難所受付）、市職員50人程度
7. 訓練内容
 - 住民** (1)日常的な防災への備えの確認（持ち出し品等の確認、避難ルートの確認 等）
(2)県アプリを活用した避難所受付までの手続きの確認
(3)備蓄品（パーテーション、段ボールベッド等）の内容や使い方等の確認
※ 訓練実施者には、県アプリの機能を活用してアンケートの回答を依頼する。
 - 市役所** (1)避難所の開設から閉鎖までの流れの確認
(2)県アプリを活用した避難所受付事務の習熟
(3)備蓄品（パーテーション、段ボールベッド等）の内容や使い方等の確認
8. 連携内容
県アプリの活用方法や理解を深めるため、宮城県と連携して次の取組を実施する。
 - (1) 訓練当日、2か所のコミュニティセンターに宮城県が県アプリ登録支援ブースを設置する。
 - (2) 町内会等や住民向けに県アプリ使い方や登録方法を説明する。
 - (3) 事前に市職員に対して県アプリ使い方の説明・操作研修会を開催する。
 - (4) 住民に周知する防災訓練チラシに県アプリのPR欄を作成する。

タイムテーブルのイメージ

共通

9時発災 発災時に避難行動の起点となる緊急速報メール（以下「エリアメール」という）を受けて行動を開始する。

9時15～45分頃 県アプリを活用した避難所受付訓練を実施する。

10時30分頃まで パーテーションや段ボールベッドを活用した避難所設営訓練を実施する。

住民

9時15分頃まで 避難所等への避難行動を行う。実際に避難所へ行かず、自宅避難等で終える場合は、アプリで該当する避難行動を選択する。

（未登録者は、避難所で担当者から手順説明、東西にある両コミュニティセンターで県の支援を受けて登録支援を受けることが可能）

10時30分以降 アプリに届いたアンケートに回答する。